

地域懇談会Q&A集



先月号（広報おけと12月号）に引き続き、平成29年度地域懇談会の主な内容を「質疑応答集」としてご紹介します。今回は、置戸地区、境野地区の様相について掲載します。

置戸地区

●12月4日(月)●コミュニティホールほっほ●参加者28人

問 車道を除雪した時の削った硬い雪を道端に放置されると、流雪溝を使用する際に非常に邪魔になる。空き地などに移動し、一度仮置きしてから処理するようにしてほしい。

答 硬い雪を流雪溝に投雪する作業は、非常に重労働であることは十分承知しているが、車道を除雪した際の路肩の雪を空き地に移動するという事は、実質排雪を行うことと等しく重機も人手もお金も必要となり、大通りだけの話ではなくなる。今季から投雪時間が20分延長となり昨年より作業に多少ゆとりが生じる。ご理解いただき、ご協力をお願いしたい。

問 最近、中央公民館付近に凄い数のカラスが集まり、夕方になると一斉にバイパス方面に移動していく際に大量の糞を落としながら飛んでいくので、後始末に苦慮している。カラスが家庭菜園などの野菜やゴミなどを荒らすことも少なからず起きているので、カラスの駆除対策を考えてほしい。

答 有害鳥獣として狩猟による駆除はできるが、市街地区での銃の使用ができないため困難で

ある。過去にゴミ捨て場でわなを仕掛けて捕獲したことがあるが、景観などを考えると市街地区では難しい。全国的にも同様の課題を抱えており、有効な解決策が無いのが現状である。カラスの餌にならないように、生ゴミの扱いや犬の餌などに注意するように皆さんのご協力をお願いしたい。

問 街路樹の落ち葉（特にイチョウ）が大量に落ち、その清掃が住民の負担になっている。近くに住む住民は仕方なく片付けているが、住民がいないなど放置状態になっている場所は汚れもひどく見栄えもよくないので、なんとかしてほしい。

答 大通りにデザイン照明・歩道のレンガ・街路樹などを整備する際、北海道と町及び自治連が維持管理協定を結んでいる。この協定を結んだのは平成10年の話で、流雪溝と同様の課題がここでも起きていることは十分認識している。しかし、町が実施するとなると雪と違い、落葉は風が吹けば一定の場所に留まらず不在地主・お年寄りに関係なく全線清掃することが想定され、何とかして欲しいというご要望は十分に理解するが、やはり解決策はみなさんの善意に訴えるしかない。なお、落葉は肥料袋に入れてゴミステーションに出してもらえれば、通常ゴミ収集時に一緒に回収する。ご協力をお願いしたい。

問 ほっほ横の町有駐車場には灯りが一つもなく、夜間はかなり暗い。車道に街灯があるが、駐